

令和5年12月22日

佐野市議会議長 川嶋嘉一様

経済文教常任委員会委員長 早川貴光

経済文教常任委員会行政視察報告書

- 1 期 日 令和5年10月24日（火）及び同月25日（水）
- 2 視察地及び視察事項
 - （1）愛知県大府市
「eスポーツプロジェクトについて」
 - （2）三重県いなべ市
「グリーンクリエイティブいなべについて」
- 3 派遣委員 早川貴光（委員長）、長浜成仁（副委員長）、川嶋嘉一、鈴木靖宏、久保貴洋、滝田洋子
- 4 随行者 議事課 議事調査係 山口沙織
- 5 視察概要 別紙のとおり

大府市視察概要

(1) 愛知県大府市

大府市の概要

人口：92,881人（令和5年5月末現在）

面積：33.66km²

議員定数：19人

政務活動費：月額15,000円×12か月（年額180,000円）

視察概要 「eスポーツプロジェクトについて」

説明：健康未来部 健康都市スポーツ推進課

○内容

・設置の経緯

大府市は、新型コロナウイルス感染症の影響で高齢者等の通いの場の減少・活動の自粛など、社会的なつながりの減少が高齢者の健康に影響を及ぼすことが課題となっており、健康づくり・世代間交流につながる仕組みとしてeスポーツを普及・活用しています。

eスポーツ導入テーマとして、U（universal：様々な人が「気軽に」）、W（wellness：「健康づくりやフレイル予防等」に寄与）、C（connect：「新たなつながり／世代間交流」の促進）を設定し、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用して石ヶ瀬児童老人福祉センターにeスポーツ専用のルームを整備しました。

・施設の概要

設置設備として、デスクトップPC（6台）、タブレット（3台）での運用となっています。ぷよぷよeスポーツ、太鼓の達人、雀魂（じゃんたま：麻雀ゲーム）などがあり、個人利用を基本として誰でも利用が可能です。初回講習後、利用者カードが発行され、毎時0分から60分ごとの入替制（利用は1人1日1回まで）となっています。

・今後の展開

長続きせず数回の利用でやめてしまう高齢者もおり、また、利用者間での交流が少ないことが課題となっています。高齢者の継続利用、世代間・地域間交流の促進、多様な主体との連携、高齢者への効果検証が今後の課題として挙げられます。

○所感

高齢者の健康増進や年齢・性別・障がいの有無を越えた交流機会の創出を目指している大府市は、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して老人福祉センターにeスポーツ専用ルームを整備し、令和5年2月20日に一般開放開始となりました。

開設から現在まで、10歳未満・10代・70代の利用が多いことに加えて、こどもと一緒に利用する保護者が多いことに着目しました。また、団体利用として地元の社会福祉法人や老人クラブからの利用の希望も上がっているとのことで、高齢者の健康増進や交流機会の創出が期待できることが確認できました。団体利用の中では、授業の一環で大府市教育支援センターも利用予定とのことでした。

佐野市においては、高齢者等の通いの場の減少・活動の自粛など、大府市同様の課題を抱えているといえます。それらを解決する方法としてeスポーツの導入は検討に値するものと考えていますので、今回の行政視察は大変有意義なものになりました。

いなべ市視察概要

(2) 三重県いなべ市

いなべ市の概要

人口：44,845人（令和5年6月1日現在）

面積：約220km²

議員定数：18人

政務活動費：各会派の所属議員数に月額3万円を乗じた額を、年2回（4月～9月、10月～3月）に分けて交付

視察概要 「グリーンクリエイティブいなべについて」

説明：一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ
「いなチャリの整備状況及び利用状況について」

説明：農林商工部 商工観光課

○内容

令和2年4月に一般社団法人グリーンクリエイティブいなべが設立されました。住民や民間企業と一緒にあって、地域や社会の活力を生み出し、様々な地域課題の解決を目指すために、行政組織から独立した法人組織であり、にぎわいの森（※）を核に、市のまちづくり理念「グリーンクリエイティブいなべ」を軸とした事業を推進し、人々を魅了するモノ・コト・トキの創造を目的としています。

また、いなべ市はフェアトレードタウン（※）に全国で6番目に認定（三重県では初）され、フェアトレード商品を市内で販売するほか、地産地消にも取り組んでいます。

これからのまちづくりとして、山辺のカジュアル化、つながりの場、人づくり、新たな価値の創造、協働の場、シビックプライドの醸成などにより、にぎわいの森を核に、SDGsを軸とした地方創生を推進していくとしています。

※にぎわいの森は、地域商社機能、DMO機能、まちづくり機能、情報発信機能を併せ持っています。

※フェアトレードとは、発展途上国の商品を、適正な価格で購入することを通じて立場の弱い途上国の生産者や労働者を守ろうという運動のことです。

○所感

グリーンクリエイティブいなべの考え方として、「自然とアウトドア」、「農と食」、「アート・クラフト」が掲げられています。市民を主役とした新たないなべ市の価値や魅力を創出して、選ばれるまちを目指しており、加えて、都市部から地方へ新たな人やお金の流れを生み出して地位活性化を図っています。また、にぎわいの森を核とした市内回遊等、関係人口増加のためのまちづくりを行っています。

「売り込む」をキーワードとした農業・商業振興、「呼び込む」をキーワードとした観光・交流振興、「つなげる」をキーワードとした市民協働・移住定住・生業支援、そしてまちの魅力発信など、SDGsを物差しにして各事業を推進している点に着目しました。また、いなべ市は佐野市同様に山間地があることから、キャンプやサイクリング等のアウトドアに最適であり、そのような取組も強化しています。

いなべ市は、その立地や特徴、様々な諸条件を長所と捉え、いなべ市を舞台に輝く主人公を増やす取組を進めています。佐野市はいなべ市と似ている立地や特徴があることから、今後、佐野市が参考にできる点がいなべ市に多くあると感じました。